

松本大学同窓会報『フラップ』

令和6年4月20日発行(通算40号)

Communication

Flap

Vol.22



同窓会活動

役員挨拶

令和5年度 同窓会総会開催

同窓会入会式・卒業記念パーティー

大学News

周年記念事業報告

大学活動

卒業生進路状況

ガーベラ(Gerbera)は、キク科ガーベラ属の総称。花色はピンク、赤、白、黄色、緑、オレンジなど豊富。

ピンクの花言葉は、『感謝』『崇高美』

『感謝』とは、ありがたく思っ礼をいうこと。心にありがたく感ずること。

仕事や学業でお世話になった人や、助けてくれたり、力になってくれる人などに『感謝』の気持ちを持ちましょう。

地域とともに新しい未来へ

「同窓会長挨拶」



松本大学同窓会

会長 小島 恵子

同窓会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は同窓会の運営と母校発展のため、何かとご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年4月1日より、母校では、新学長に清水一彦先生をお迎えしました。同窓会では会則通り名誉会長をお願いいたします。

前学長の菅谷昭先生には、コロナ禍で学生活動が制約された中、教職員一丸となって、母校のためご尽力をいただきました。感謝申し上げます。

同窓会の主目的は「会員相互の親睦」「母校発展への寄与」「学園との連携」という理念に基づき、毎年、関連事業を進めております。昨年度はようやくコロナも5類に

移行し、徐々にではありますが、従来と同様の同窓会活動ができました。

年1回発行の同窓会報は、直近一年の同窓会・母校の活動並びに今後の活動を皆様方にお知らせする唯一の広報紙です。お陰様で今回は明るいニュースをお届けできます。掲載記事をご覧ください、ご意見などお願いいたします。

今年度は、3年ごとに行われる、同窓会役員ならびに学園役員の改選期にあたります。

同窓会組織は、大きく分類すると、各学部の学科より選出される学年幹事からなる幹事会と、正副会長・監事・正副幹事長より構成される常任幹事会があります。

正副会長・監事は同窓会総会にて、正副

幹事長は幹事会で選出されます。

また、学校法人松商学園は、私立学校法に則った「学校法人松商学園 寄附行為」により運営されており、理事・評議員がその責を担っております。来年度、私立学校法が改正され、特に評議員の職責が重くなることに伴い、理事会で卒業生枠を16名に減少することが決議されました。同窓会は5名の評議員数となります。

それぞれの選考規程に則り、次期役員・学園役員の選考を進めてゆきたいと思っております。

松商学園は、戦後以降オーナーがおらず、卒業生が頑張ってきました。その理念を繋ぎ、これからも、母校発展のため、何卒お力添えをお願い申し上げます。

日本の人口構成を考える

学校法人松商学園

理事長 丸山 律夫



松本大学同窓会の皆様には、平素格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

新年度を迎え、新型コロナウイルスの感染拡大は大分収まり、忘年会・新年会・いろいろな懇親会も始まり、街じゅうが賑わう様になりました。

先日の新聞に「日本の人口構成を考える」記事がありましたので考えてみました。

(表-1)

年齢層	令和4年人口構成		令和5年人口構成		移動数	
	万人	%	万人	%	万人	%
15歳未満	1,503	11.9	1,478	11.8	-25	-1.66
15歳以上65歳未満	7,509	59.5	7,450	59.4	-59	-0.78
65歳以上	3,603	28.6	3,622	28.8	19	0.53
合計	12,615	100	12,550	100	-65	-0.52

(表-1)から見える事は、

- 15歳未満の中学生以下の児童層は、「少子化」と言われている通り、年間 約25万人(-1.7%)の人が毎年減少していく。
- 65歳以上の老年層は、年間 約19万人(+0.5%)増加しているが、ここは平均寿命の延命による高年齢層の増加で

あり、働き手の増加にはあまり期待できない。

- 15歳以上65歳未満の働く年齢層は、上記児童層と老年層にはさまれて年間約60万人(0.8%)の人が減少していく。

対策としては、

- 65歳以上の高齢者でも働ける仕事の内容を精査し、手法・機械化・OA化等を検討し、65歳以上の高齢者でも働ける仕事を増やし、働く高齢者を積極的に増やしていく。
- 他国との国際協力体制を更に強く築き上げ、国際分業体制を強化、15歳以上65歳未満の仕事他国に協力的、必要な仕事量を賅う。
- 女性の活躍の場を更に広げていく。
- 15歳未満の層を増やすべく、是非政府の力を更に入れて「少子化対策」を実現していく必要がある。

以上のように、内容はすでに実行されている事も多々あると思いますが、さらに改革を進めていくには、「政府の力」「他国の力」等を積極的に使って、今ある仕事は是非ともやり遂げていきたいと思っております。

「新学長ご挨拶」

同窓会と大学との連携協力を強化します

松本大学・松本大学松商短期大学部
新学長 清水 一彦



この4月より松本大学・松本大学松商短期大学部の学長としてお世話になります。どうぞよろしくお願いたします。山梨県北杜市明野町(旧明野村)で農家の息子として生まれ、自然豊かな地で小さい頃から養蚕・米中心の農業や酪農を手伝い、馬や牛とともに過ごした経験は、その後の私の教育研究人生の糧となり、今でも自然や大地は私にとって偉大な先生でもあります。

さて、同窓会は大学の大きな財産です。これまで本学の教育研究活動や学生支援等に対する温かいご理解とご支援・ご協力に心から厚く御礼と感謝を申し上げます。昨今、大学を取り巻く環境や状況は大きく変わりつつある中で、卒業生・同

窓生と大学の繋がりが強く求められてきています。私自身、これまでの経験の中で、同窓会と大学とが一体でなければならないことを痛感しています。その繋がりを強化していく上で、少なくとも次の2点に取り組んでいきたいと考えています。

一つは、同窓会員の生の声を聴取する制度システムを構築することです。大学の社会的責任(アカウンタビリティ)を果たすために、在学生や教職員のみならずステークホルダーとしての卒業生や同窓生の意見や要望を聴取することは、大学の教育研究の発展には不可欠であります。

二つは、大学のリカレント教育の促進です。本学には二つの大学院研究科が設置されていますが、人生100年時代にあっ

て、卒業生を含む社会人の学び直しの場を積極的に提供し、生涯にわたる学習の機会を拡充していく構想です。

以上二つについてはすでに実践されていると思われませんが、本学の建学の精神や教育理念に基づく新たな視点から、より強化させるための制度設計を考えたいと思います。

本学の卒業生や同窓生は、長野県のみならず全国あるいは世界各地で活躍されていると思います。同窓会と大学との連携協力をさらに一層強化し、相互の絆を深めながら国内外に誇れる大学を築いていきたいと願っています。引き続きご理解とご支援・ご協力をよろしくお願いたします。

ご挨拶

松本大学・松本大学松商短期大学部
前学長 菅谷 昭



同窓会の皆様におかれましては、日頃よりそれぞれのお立場で本学の更なる飛躍発展に向け、物心両面から幅広くご支援を賜っておりますことに心より感謝を申し上げます。

さて昨年度当初、新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、長期にわたり学生たちを悩まし続けたコロナ禍も序々に改善され、教育現場や大学キャンパスにおいては、コロナ前の活気と笑顔が戻り大変嬉しく思っているところでございます。

またご案内の通り、昨年9月には合同周年事業を挙行することができ、お陰をもちまして、記念式典、講演会、記念パーティにおきましては、それぞれ大変多くの皆様方のご参加をいただき、盛会裏に執

り行われました。これも同窓会各位のお力添えの賜物と、この場をお借りして深く感謝を申しあげる次第でございます。

松本大学としましては、この度の記念事業を契機として本学が地域の優れた「知の拠点」をめざし、教職員一丸となりより一層努めて参る所存でございますので、同窓会におかれましては、引き続き特段のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ここで昨年度の主たる動きにつきまして、若干ご報告申し上げさせていただきます。

本学では、昨年4月より、「松本大学令和変革プロジェクト」を立ち上げ、学部・学科の再編や入学定員数の適正化等々、大学変革の取り組みを積極的に推進し、「未

だ途上にある大学」との認識の下、新たな独自性や特色を発揮すべく様々な営みを継続してきております。

加えて、同窓会の名簿作成を含めた体制強化につきましては、これまで度々お願い申し上げて参りましたが、喫緊の課題としてスピード感のある動きを進めていただきますようよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、私は3月末を以て学長を退任させていただきますが、皆様方より賜りましたこれまでの多大なるお力添えに衷心より感謝を申し上げます。大変お世話になりました。



開学・開設を祝して 記念式典・パーティーを開催

松本大学 事務局長 赤羽 研太

周年記念事業の集大成として、令和5年9月24日、松本大学松商短期大学部開学70周年・松本大学開学20周年・松本大学大学院開設10周年の節目を祝う記念式典を、本学第一体育館で執行了いました。

当日は、学生・学園関係者を含め約400名の方にご出席いただき、丸山律夫理事長は式辞で「長い歴史と伝統を基盤として、高等教育機関と中等教育機関を併せ持つ学校法人としての強みを活かし、皆様のご期待に沿えるように、一層の努力を続ける」と述べ、続いて菅谷昭学長は「式典を新たな起点とし、建学精神である「自主独立」の下、今後も地域貢献を基本とするミッションをぶれることなく守り抜く」と決意を力強く表明しました。

また、周年を記念して、松本大学同窓会より教育拡充資金として500万円、松本大学後援会より施設拡充資金として500万円の目録を贈呈していただきました。

記念式典および記念講演会に続いて、松本市内のホテルにて記念パーティーを実施し、普段お話できない方々と交流を深めることができ、大変盛況



のうちに終了しました。

今後も大学を中心としたつながりを大切に、次の10年、20年先に向けて新たな道を切り拓いてまいります。同窓会様より贈呈いただいた多額のご寄付は、大学のさらなる発展のために大切に使用させていただきます。



周年を記念して関連事業を開催しました



「松本大学健康首都会議」を開催 菅谷昭学長の記念講演

松本大学健康首都会議

周年事業の一つとして、松本大学健康首都会議を開催しました。第1回目は新型コロナウイルスの感染拡大による延期を経て、令和5年3月4日、5日にかけて「健康づくりは幸せづくり～人生100年時代を迎えて～」をテーマに開催し、延べ1200名が来場されました。第2回目は令和5年11月11日、12日にかけて「健康ライフの知恵を増やそう!～さらなる脳活・筋活・骨活・腸活に向けて～」をテーマに開催し、延べ900名が来場されました。第1日目の基調講演に、京大名誉教授・京都ヘルメス研究所長の山中康裕先生を迎えました。講演タイトルは「健康の魂学(ソウロロギー)(山中先生による造語)」、いわゆる健康ではなく、いわば健康の土台として、教育や文化の将来はどうあるべきか、タイトルのとおり魂のこもった熱いお話を聞くことができました。

リカレント教育講座を開設

松本大学のリカレント教育では、仕事に生かせる面だけでなく、仕事から離れた社会人の方々も含め、広く地域の方々を対象に「日々の生活を豊かにするための知識」を身に付けることで、今後の人生の幅を広げてもらいたいと考えています。令和5年度は、「現代社会を考える多彩な知識を身に付ける」をテーマに、5月から8月にかけて全12回、オムニバス形式の講座を開催しました。53名の受講者を迎え、健康から地域経済まで幅広い学びに、受講者は熱心にメモを取りながら聴講し、最終日には修了証を手渡し、好評を博しました。



記念講演会

記念式典に引き続き、政治学者で東京大学名誉教授の姜尚中氏を講師にお迎えし、「向こう岸から一地域から世界へ、世界から地域へ」と題し、記念講演会を開催しました。姜氏は、鎮西学院学院長を務められていることから、大学についても触れられ、「大学は地域の大きな公共財で、地域社会に開かれていくことが重要である」と述べられました。



大学周年記念に際しての寄付のお礼

松本大学同窓会 副会長兼幹事長 山崎 信市

春陽の候、同窓生の皆様方には益々ご健勝のことと拝察いたします。また、平素より同窓会の運営と母校の発展の為に配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度は松本大学松商短期大学部(旧松商学園短期大学)が開学70周年、松本大学が開学20周年、松本大学大学院が開設10周年を迎える、記念の年となりました。

この周年記念となる年度に当たり、同窓会として母校の更なる発展のため、短大・大学の教育・研究充実のための資金として、同窓生の皆様へ募金のご協力をお願いいたしました。

何かと物入りのこの時期に、多くの同窓生の皆様方にご協力を賜り、深く感謝申し上げます。皆様方からいただいた善意は、大学としても、有効に活用されることと存じます。

なお、同窓会としましては、周年記念式典において、積立金の中から同窓生総意として、500万円を贈呈いたしましたので申し添えます。

これからも、松本大学同窓会は、短大・大学の維持発展の為に協力を継続していきたいと思っております。学校法人松商学園では、毎年恒常的な寄付をお願いしておりますが、今年度も周年記念募金を継続しておりますので、卒業生の皆様には引き続きご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

《教育拡充募金の払込手続きについて》

払込手続きにつきましては、下記のURLまたはQRにて「学校法人松商学園の教育拡充募金のホームページ」にアクセス。寄付の項目は、「松商短大開学70周年・松本大学開学20周年・大学院開設10周年」を選択してください。



<https://www.matsu.ac.jp/portal/fundraising/>

令和5年度 総会・懇親会開催

松本大学同窓会 総会実行委員会副委員長 三村 明子

木々の緑が日に日に濃さを増す5月27日(土)に、令和5年度松本大学同窓会総会及び懇親会がアルピコプラザホテルにて開催されましたのでご報告いたします。

コロナ禍以前は幹事会・総会と別に開催されておりましたが、昨年度より幹事会兼総会とし併せての開催でした。

小島同窓会長の挨拶の後、議事に入り令和4年度事業報告・決算報告及び監査報告、令和5年度事業計画案・予算案、そして松本大学松商短期大学部開学70周年・松本大学開学20周年・松本大

学大学院開設10周年記念への寄附について審議され、全ての議事が原案通り可決承認されました。

総会後には令和元年度以降、中止となっていた懇親会が開催されました。菅谷学長をはじめとするご来賓各位、大学教職員の方々も出席いただき、100名弱の皆様をお迎えし盛大に催すことが出来ました。

コロナ前の懇親会と同様に抽選会もあり、大いに楽しんでいただきました。

また4年ぶりの開催ということもあつ



令和5年度松本大学同窓会総会

てか、世代を超えた同窓生の親睦が深まり、予定時間では不足、皆様名残惜しそうに見受けられたことが印象的でありました。

令和6年度の総会・懇親会も開催の予定です。同窓会報にて周知致しますので、是非多くの同窓生皆様のご参加をお願いいたします。



令和5年度松本大学同窓会総会



令和5年度松本大学同窓会懇親会



令和5年度松本大学同窓会懇親会

レクリエーション委員会

第7回マレットゴルフ大会開催

松本大学同窓会副幹事長・レクリエーション副委員長 小川原 健太

第7回マレットゴルフ大会が令和5年6月24日(土)信州スカイパークにおいて、19名参加のもと開催されました。梅雨時の開催で天気が心配されましたが、天候にも恵まれ、参加者の皆様のご協力のもと、笑顔あふれるプレーが繰り広げられました。

新しい生活様式ということで、大会終了後に皆様にご参集いただき、昼食を食べながら表彰式を行ってきたのですが、プレー終了後、順次抽選を行い、お弁当をお持ち帰りいただく、流れ解散スタイルを取り入れさせていただきました。したがって、より安心し

て、参加していただけたのではと、思っております。

参加していただいた方々は、マレットゴルフに慣れている方から、初心者の方まで、いろんな人達がおりましたが、思い通りのプレーができて喜ぶ声や、そうでなくても皆で悔しがる姿が見られ、とても楽しい時間を共有出来たのではないのでしょうか。

マレットゴルフは、誰でも参加しやすく、性別、年齢に関係なくコミュニケーションをとりながらできるスポーツだと改めて感じました。同窓会の交流と学生との交流の場にもなればと思っております。

ぜひ、今年も多くの皆様のご参加をお待ちしております。



第30回 ホームカミングデー開催

ホームカミングデー委員長 唐木 美智男

大学の学園祭「第57回梓乃森祭」開催中の10月14日(土)、15日(日)の2日間に渡り、同窓会主催のホームカミングデーが開催されました。

昨年まではコロナウイルス感染症の関係で中止となっていました、5年ぶりの開催と成りました。

卒業生を対象としたイベントとして、受付テントを設け、初の試みとしてスマートフォンを使ったQRコード受付も行われて、卒業生と同伴のご家族に校内で行われている模擬店で使える商品引換クーポン券を、また、卒業生には記念品としてトートバックやマフラータオル等、選んで頂く形でお贈りしました。

また抽選会が1日目に行われ、その抽選券もお渡ししました。1日目の14日の午後2時から会場の515教室にお集まり

頂き、恒例のイベントになりました。同窓会から大学に対する学生支援金贈呈式と、

抽選会が行われました。開会の挨拶の後、大学を代表して浜崎央副学長よりご挨拶を頂き、その後、学生活動支援金贈呈式が行われ、同窓会の山崎信市副会長兼幹事長より浜崎副学長に目録が贈呈されました。副学長からは感謝するお礼の言葉がありました。学生の活動に対して有効に使っていただければと思います。

その後抽選会が行われました。抽選の賞品は36品ありとても魅力ある商品でした。抽選により当選番号が読み上げられるたびにざわめきがおこり、一喜一憂され、とても盛り上がりました。残念ながら当たらなかった方も、魅力ある賞品をまた揃えたいと思いますので、是非来



てチャレンジして頂ければと思います。

大学同窓会が開催するホームカミングデーは、卒業生が大学のキャンパスに集い、情報発信し続ける地域に根差した母校の今を知って頂き、刺激を受けて、ご自身の日常生活や仕事にお役に立てていただければと、役員一同企画・運営をしております。

多くの皆様が集まり笑顔が見られるホームカミングデーを、また今年も開催したいと思います。是非、友達や家族を誘い合い、お越しいただけることをお願いいたします。

また、卒業生の皆様のご意見・ご要望をお寄せ頂ければと思います。

次回大会予定 多くの皆さまのご参加をお待ちしております

第7回マレットゴルフ大会ご案内

- 開催日 6月15日(土)
- 場所 松本スカイパーク (かもしかコース・らいちょうコース)
- 受付開始 8:30 ■開会式・集合 9:00
- 会費 1,000円
- 終了後抽選会 抽選会を行います(昼食を用意します)
- 豪華賞品 個人 優勝・アルバトロス賞・ホールインワン賞・参加賞
- 申し込み締め切り 5月31日(金)

ゴルフコンペご案内



- 主催 松商学園高等学校校友会
- 共催 松本大学同窓会
- 開催日 9月7日(土)
- 場所 穂高カントリークラブ
- 申し込み 松本大学同窓会として一括申し込みます。
- 申し込み締め切り 7月中旬頃を予定
※締め切り後、詳細をお送りいたします。

令和6年3月15日 学位授与式・同窓会入会式・卒業記念パーティーを開催 (松本大学・松本大学松商短期大学部・松本大学大学院)

松本大学同窓会 事務局員 宮坂 佳典



華やかな学位授与式

■ 学位授与式

令和6年3月15日の学位授与式は、大きな制限を設けずに松本大学第一体育館にて執り行われました。今年度は、5年ぶりに来賓として、小島同窓会会長(理事・大学委員長)と山崎副会長兼幹事長(理事・大学委員)が出席しました。

菅谷学長から、大学、短大ならびに大学院の卒業生・修了生、652名に対し、それぞれの学位が授与されました。

告辞では、卒業生・修了生に対して、コロナ禍に耐えながら日々努力されてきたことに敬意を表するとともに、今後の社会生活における多くの困難や重圧を乗り越え、常にプラス思考で大きく飛躍することを祈念して、賛辞と励ましのお言葉が送られました。

当日は晴天にも恵まれ、キャンパス内のあちこちで、友人や恩師との思い出を楽しむ姿が見られました。



学位授与式

■ 同窓会入会式

学位授与式に引き続き、同窓会入会式を行いました。入会式では、小島会長から同窓生となる卒業生・修了生に対してお祝いのお言葉が送られ、山崎副会長兼幹事長が同窓会活動の説明等を行いました。

その後、学年幹事の方々をご紹介し、あわせて委嘱をさせていただきました。学年幹事の方々、この学年を牽引し、同窓会活動を盛り上げていただくようお願いいたします。

また、同窓会賞の授賞式を執り行い、同窓会副会長の丸山正芳様が行われてきたグローバルな社会活動等に対して、同窓会賞が授与されました。本件の詳細は別の



卒業記念パーティー



同窓会入会式

記事をご覧ください。

あわせて、初めての試みである、海外留学支援金贈呈が該当の卒業生2名に贈られました。授賞者からは、会長に英語で感謝の言葉が述べられました。

■ 卒業記念パーティー

コロナ禍のため中止していました卒業記念パーティーを復活させ、同窓会主催の元、大学職員の方々、司会を始め、受付など、数多くの在学生のサポートとともに、ホテルブエナビスタ様を会場にして実施いたしました。

久しぶりのパーティーでしたが、多くの卒業生・修了生、来賓、教職員をお招きして開催することができました。パーティーでは、本学吹奏楽部卒業生を中心としたブラ.SPAN>パンダの演奏、アンサンブルsolaeの合唱、ダンス部によるパフォーマンス、抽選会等が行われパーティーを盛り上げていただきました。

参加された皆様の多くの笑顔が印象に残る卒業記念パーティーとなりました。



卒業記念パーティー:ダンス部パフォーマンス



卒業記念パーティー:学部吹奏楽部卒業生を中心としたブラ.SPAN>パンダの演奏



松本大学 同窓会賞授与

松本大学同窓会 副会長 丸山 正芳

この度は、松本大学同窓会賞を授与頂き、身に余る光栄を感じております。

推薦下さいました皆様に心より感謝申し上げます。

ライオンズクラブ国際協会を通じて、奉仕の世界に進むことが出来ました。

在学生当時は、故石井邦守ゼミにて情報システムを学びましたが、その様な世界が訪れた事に安堵しています。

さて、人生の幸福が何であるか、時間の許される中で考えて参りましたが、「衣・食・住足りて礼節を知る」の言葉通りであります。

勿論、自分自身が健康である事がこの基礎になっていると思います。詰まる所、*元気で孫達と過ごす時間を持てる*ならば幸福と感じますと言う結論になります。

一生独身でも良いと言う論理も理解できますが、出来るならば、そう生きるチャンスに巡り合うならば、それが結論だと思います。

そこに困窮する世界に力を施しが出来るならば、最高の人の姿と感じています。

社会人として、社会で語る成功の道を歩むのも生き方だとは思いますが、そこに*奉仕の心*を持ち、それを実行出来るならば、最高の人生です。

医療奉仕活動にフィリピンに総責任者として参加した時、航空機の中で機内添乗員が、*今日ここに立つ事が出来るのも幼い頃、医療奉仕活動で救われました。*語る言葉に涙が滲みました。

終わりに、松本大学同窓会をはじめ、在学生、学校関係者の皆様の御健勝を祈願して、お礼の挨拶とさせていただきます。

海外留学支援金贈呈 交換留学での学び

松本大学松商短期大学部 青木 香穂

私は令和5年の8月から12月の4か月間、韓国の東新大学に留学しました。

中学生の頃から韓国が好きで、松商短期大学部に進学を決めたのも、交換留学の制度があった部分も当時は大きかったと記憶しています。

韓国では、週に5日間韓国語の授業を受けていました。教科書に縛られた会話をできるだけ避けたかったので、休み時間には先生と積極的に会話をしたり、韓国の友達とたくさん遊んで会話をしていた

く中で、韓国語の実力向上に努めました。

毎週木曜日には、学校で異文化体験学習があり、友達と一緒に参加することも多かったです。そこでは韓国で伝統的な建物を見に行ったり、船に乗って自分たちが住んでいるところの周りを散策しました。休日には友人と街に出かけてショッピングをしたりと、短い期間ではありましたが、とても貴重で忘れられない思い出になりました。

海外留学支援金は留学を決めた最初から最後まで支えてくださった両親に渡しました。



ここでの学びをこれからの生活にも生かしながら、次はワーキングホリデーにも行きたいと思います。

「学生活動支援金」 ありがとうございます

松本大学 教育学部 学校教育学科 逢沢 郁也

この度は同窓会からの学生活動支援金の援助ありがとうございました。

援助金で演奏会用の男性はタキシード、女性はブラウスとスカートそれぞれの衣装として購入させていただきました。実際に今年の2月24日に、松本市音楽文化ホールにて行われた第5回記念演奏会にて着用し、先日の大学の卒業記念パーティーでも着用しました。

今までsolaeとして揃った衣装は持っておらず、演奏会やステージでは衣装の色合いやテイストを伝え、各々の持っている私服を着用していました。しかしそれでは一貫した統一感が薄くなり、部としての印象が薄くなってしまっていたと感じていました。しかし今回の援助のおかげで、衣装の統一感が生まれ、solaeとしての印象もよ



り強いものとなりました。

また、これは見栄えだけではなく、援助を受けるということで部員たちの練習に対しての熱量もますます高まり、より身になった練習ができました。

改めて本当にありがとうございました。

梓乃森祭 盛大に開催される

松本大学 事務局長 赤羽 研太

令和5年10月14日と15日、第57回「梓乃森祭」を開催しました。テーマは「Pop corn (ポップコーン)」とし、コロナ禍を経て、これまで我慢してきた気持ちを弾けさせようといった学生の思いを表現しました。実に5年ぶりに一般公開、飲食品を扱う模擬店の出展を認めるなど、制限のない形での開催となりました。伝統やノウハウが途切れてしまったところもありましたが、学生・教職員共に苦労しながら準備を進め、当日は多くの来場者を迎えて盛会に終わることができました。同窓会の皆さまにもホームカミングデーを開催いただき、盛り上げていただきました。



部活動

硬式野球部は関甲新学制野球連盟1部に所属し、春季は創部以来最高成績となる、10大学中第3位という結果でした。秋季は順位を落としましたが、10大学中第5位で終わることができました。

男子サッカー部は北信越大学サッカーリーグ1部に所属し、前期リーグ、後期リーグともに8大学中2位と健闘しています。女子ソフトボール部は、北信越地区の登録チーム数の減少により、インカレ出場枠が1となり、その座をめぐる金沢学院大学と対戦しましたが0勝2敗で敗れ、創部以来17年連続インカレ出場は叶いませんでしたが、新たなコーチを迎え、新体制で日々練習に取り組んでいます。





教員採用試験合格状況

令和6年度採用の試験に、総合経営学部から長野県・北海道の小学校に2名、人間健康学部から長野県の養護教諭と北海道の小学校に2名、教育学部では長野県小学校7名、長野県中学校英語教諭をはじめ、計23名(延べ25名)が合格しました。卒業生からも総合経営学部1名、人間健康学部9名、教育学部13名から嬉しい合格の報告がありました。本学での学びを活かし、全国各地の教壇に立つ人材が着実に増えてきています。

プロアマドリームトーナメント優勝！

いつもあたたかい応援をありがとうございます。雨天のため1日遅れとなりましたが、長野県知事杯争奪プロ・アマドリームトーナメントが今年も無事開催されました。力の差は大きかったものの、全員で大きな岩となって戦った結果、2連覇を果たすことができました。この大会を開催するにあたりご尽力いただきました多くの皆様に心より感謝申し

松本大学 硬式野球部 監督 清野 友二

上げます。いよいよ春季リーグ戦もスタートしました。勢いを切らさず、足りない部分を補い、優勝目指してより一層精進してまいります。足元の悪い中、たくさんの方に直接あたたかい声援をいただけたことが非常に大きな力になったと感じております。本当にありがとうございます。今後とも松本大学硬式野球部の応援をよろしくお願いいたします。



大会MVPには松崎友紀主将が選出



新幹事挨拶



松本大学 教育学部 学校教育学科
学年幹事 福永 あずさ

こんにちは。この度、今年度の教育学部学年幹事を仰せつかりました福永あずさと申します。最高の卒業式を終えた今、学生の終わりを実感するとともに4月から始まる新たな道に胸を躍らせています。このように自信を持ち、未来に希望を持つことができるのは松本大学での充実した4年間があったからです。私にとってこの4年間は、夢を語り合える同志や温かい地域の方との出会い、経験したことのない学びへの没頭、学部や学年を越えた仲間との協力など、かけがえのない思い出が詰まった素敵な宝物です。

松本大学同窓会の皆様にはこのような学生生活を過ごせるよう、日頃から応援し支援していただいたこと、改めて心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

これからは私も同窓会の一員として松本大学を、松本大学の学生を応援できることをとても嬉しく思います。至らない点もありますが、精一杯頑張りますので何卒宜しくお願いいたします。

新幹事紹介

- 総合経営学部
 - 総合経営学科……………大住 望
 - 総合経営学科……………鈴木夏々葉
 - 観光ホスピタリティ学科……………工藤 太陽
 - 観光ホスピタリティ学科……………小林 莉奈
 - 観光ホスピタリティ学科……………猿田 朱里
 - 観光ホスピタリティ学科……………澤谷 琉生
- 人間健康学部
 - スポーツ健康学科……………大澤 広歩
 - スポーツ健康学科……………田中 愛
- 教育学部
 - 学校教育学科……………江間 千裕
 - 学校教育学科……………福永あずさ
 - 学校教育学科……………三井 速世
- 松商短期大学部
 - 商学科……………塩原いづき
 - 経営情報学科……………土屋 蒼太

日本学生支援機構奨学金の貸与を受けていた方へ

先輩が返還したお金が後輩の奨学金になります。返還金の回収が遅れると、後輩奨学生の採用・交付に重大な支障をきたします。病気、低収入などで返還が困難な場合は、減額返還や返還期限を猶予する制度があります。

お問い合わせ先：奨学金返還相談センター
0570-666-301

松本大学人事短信

令和5年度退職者および令和6年度新任者について、同窓会の皆様にお知らせいたします。

令和5年度退職者

- 健康科学研究科……………教授 廣田 直子
- 総合経営研究科……………教授 木村 晴壽
- ……………講師 田開寛太郎
- ……………講師 佐藤 嘉晃
- 総合経営学科……………講師 三浦友里恵
- 観光ホスピタリティ学科…教授 山根 宏文
- ……………准教授 中澤 朋代
- 健康栄養学科……………助手 水野 尚子
- 学校教育学科……………教授 岸田 幸弘
- 教務課……………主事 河合 佑真

令和6年度新任者

- 総合経営学科……………准教授 小野 香織
- 観光ホスピタリティ学科…准教授 城本 高輝
- 健康栄養学科……………助手 兒玉 純子
- 学校教育学科……………講師 菊原 健吾
- キャリアセンター……………主事 児泉 亜希
- ……………主事 中村 苑美
- 学生課……………主事 浅見 涼
- 教務課……………主事 風間 葉月
- 入試広報室……………主事 林 結愛

令和6年度異動者

- 松本秀峰中等教育学校…係長 松澤 久由
(キャリアセンター)

つながる、 2万人の 地域力。

www.matsumoto-u.ac.jp



『地域で育て、地域に還す』

私たちは開学以来、

約2万人の卒業生を地域社会に送り出してきました。

卒業生たちは、今もそれぞれの地で活躍しています。

しかしながら、地域社会にはまだ様々な課題が山積しています。

これからは卒業生とともに

地域づくりの輪をさらに広げ、つながり、

大学を中心としたこの輪が地域社会に広がるよう

私たちは進化を続けてまいります。

卒業生の皆さまへ

入学金免除制度

松本大学・松商短期大学部・松本大学大学院の卒業生または在学生在が、
祖父母・父母・兄弟姉妹にいる場合は、入学金の半額が免除となります。



学校法人松商学園

松本大学



学校法人松商学園

松本大学松商短期大学部

総合経営
学部

総合経営学科
観光ホスピタリティ学科

人間健康
学部

健康栄養学科
スポーツ健康学科

教育学部

学校教育学科

松商短期
大学部

商学科・経営情報学科

松本大学
大学院

健康科学研究科
総合経営研究科

〒390-1295 長野県松本市新村2095-1 ☎ 0120-507-200 Email. kouhou@t.matsuo.ac.jp

令和5年度 卒業生進路状況 (令和6年3月卒業)

松本大学 総合経営学部

総合経営学科

【就 職】

㈱アクティオ
 アスクホールディングス(株)
 ㈱アダストリア
 ㈱アドヴァンストインフォメーションデザイン
 アルピコホテルズ(株)
 アルプスシャツ(株)
 ㈱飯島商店
 イオンビッグ(株)
 イオンリテール(株)
 エア・ウォーター・マッハ(株)
 ㈱エール
 ㈱NTT東日本-関信越
 ㈱オーレンジ
 岡野薬品(株)
 岡谷酸素(株)
 オリオン機械(株)
 ㈱北澤電機製作所
 共立継器(株)
 ㈱小泉
 ㈱甲信マツダ
 ㈱国興
 MACKコンサルティンググループ小林会計事務所
 駒ヶ根市役所
 ㈱サイサン
 山洋電気テクノサービス(株)
 ㈱システムイオ
 首都高電気メンテナンス(株)
 城北工業(株)
 昭和企業(株)

昭和電機産業(株)
 ㈱信州ジャパン
 ㈱信毎販売センターふれあいネット
 ㈱諏訪貸家アパートセンター
 諏訪信用金庫
 ㈱総合キャリアオプション
 ㈱ダイシン
 ㈱ダイナム
 大北農業協同組合
 太陽工業(株)
 ㈱大和ホーム工業
 ㈱ちくま精機
 ㈱ツチハシ
 ㈱ツルヤ
 ㈱テクノ情報システム
 ㈱デリシア
 東洋技研(株)
 直富商事(株)
 ㈱長野技研
 ㈱長野銀行
 長野県警察
 長野興農(株)
 長野信用金庫
 長野ダイハツ販売(株)
 税理士法人成迫会計事務所
 日本ウォーターシステム(株)
 ネットストリクス(株)
 八方尾根開発(株)
 ㈱ファーストリテイリング
 フレックスジャパン(株)
 ㈱星野リゾート
 学校法人松商学園

松本ガス(株)
 松本信用金庫
 丸井産業(株)
 ㈱丸友中部青果
 ㈱本久
 ㈱ヤマウラ
 ㈱山二
 リコージャパン(株)
 ㈱林友
 ㈱レイズインターナショナル
 渡辺パイプ(株)
 ㈱綿半ホームエイド
【進 学】
 松本大学大学院総合経営研究科

観光ホスピタリティ学科

【就 職】

アズサイエンス(株)
 安曇野市役所
 あづみ農業協同組合
 NPO法人アルウィズデイホーム
 池田町役場
 ㈱医師のとも
 ㈱ウィズ
 ㈱ウルオブ・ワーク
 ㈱エイジェック
 エフビー介護サービス(株)
 ㈱太田屋
 岡谷酸素(株)
 軽井沢町役場
 木曾町役場

㈱キョウデン
 共和観光(株)
 協和ダンボール(株)
 社会福祉法人敬老園
 鋳研工業(株)
 ㈱国興
 真田KOA(株)
 ㈱サニクリーン甲信越
 社会福祉法人サン・ビジョン
 山洋電気テクノサービス(株)
 社会福祉法人塩尻市社会福祉協議会
 社会福祉法人下諏訪町社会福祉協議会
 ㈱シンエイ・ハイテック
 ㈱伸光製作所
 信州ミルクランド(株)
 ㈱鈴木木
 ㈱諏訪貸家アパートセンター
 諏訪信用金庫
 生活協同組合コープながの
 セキスイハイム信越(株)
 ㈱タカサワ
 ㈱竹花組
 ㈱竹村製作所
 ㈱ちくま精機
 中越運送(株)
 ㈱ツルヤ
 TBCグループ(株)
 ㈱デンソーエアークール
 東洋計器(株)
 長野飯板(株)
 長野県教育委員会
 長野県警察

長野県国民健康保険団体連合会
 社会福祉法人長野県社会福祉事業団
 長野県労働金庫
 長野ダイハツ販売(株)
 長野日産自動車(株)
 ながの農業協同組合
 ㈱日本教育システム研究所
 日本スキー場開発(株)
 日本製紙(株)
 ㈱日本橋夢屋
 NOVAホールディングス(株)
 八方尾根開発(株)
 ㈱ファーストロジック
 ㈱プライムコンセプト
 プリヂェストンタイヤ長野販売(株)
 ㈱フロンティア・スピリット
 ㈱ボテデリカ
 社会医療法人中信勤労者医療協会松本協立病院
 松本市役所
 松本信用金庫
 松本日産自動車(株)
 ㈱マナテック
 三島光産(株)
 ㈱ミュゼプラチナム
 ㈱本久
 ㈱山一精工
 山形村役場
 リコージャパン(株)

松本大学 人間健康学部

健康栄養学科

【就 職】

社会医療法人財団慈泉会相澤病院
 ㈱あしたばマインド
 あづみのうえはらおとなこども歯科医院
 社会医療法人栗山会飯田病院
 ㈱池の平ホテル&リゾート
 社会福祉法人上田明照会
 ㈱STIフードホールディングス
 エステルホールディングス(株)
 ㈱カワチ薬品
 医療法人社団敬仁会桔梗ヶ原病院
 ㈱グリーンハウス
 医療法人社団美心会黒沢病院
 医療法人銀門会甲州ハビリテーション病院
 ㈱コウズケヤ
 社会福祉法人光和福祉会
 コンパスグループ・ジャパン(株)
 社会福祉法人坂城福祉会
 社会福祉法人佐久寿寿園
 自衛隊
 北杜市立塩川病院
 シダックス(株)
 松塩筑木曾老人福祉施設組合
 医療法人慶友会城東病院
 信州ハム(株)
 信州ピバレッジ(株)
 ㈱スギムラ精工

医療法人研成会諏訪湖畔病院
 セントラルパック(株)
 高山村役場
 ㈱タック
 ㈱ツルヤ
 ㈱デイリーはやしや
 デイリーフーズ長野販売(株)
 医療法人紀隆会とどろき歯科医院
 長野飯板(株)
 長野県厚生農業協同組合連合会下伊那厚生病院
 長野県生業協同組合総合センターあづみ病院
 ㈱ナガノマト
 ナフス(株)
 日清医療食品(株)
 日本ゼネラルフード(株)
 日本電熱(株)
 富国生命保険相互会社
 富士産業(株)
 プリヂェストンタイヤ長野販売(株)
 社会福祉法人平成会
 社会福祉法人法延会
 社会福祉法人北養会
 松本市役所
 社会医療法人抱生会丸の内病院
 ㈱ミールケア
 特定医療法人栗山会三島病院
 ㈱モリキ
 ㈱八幡屋磯五郎
 社会福祉法人ゆうゆう

㈱リカーマウンテン
 ㈱LEOC
 社会福祉法人れんげ福祉会
【進 学】
 武蔵野大学

スポーツ健康学科

【就 職】

アート金属工業(株)
 ㈱青木固研究所
 上松電子(株)
 ㈱アドヴァンストインフォメーションデザイン
 ㈱イトアンドホールディングス
 ㈱池の平ホテル&リゾート
 ㈱岩野商会
 上田信用金庫
 ウェルシア薬局(株)
 ㈱浦島
 NTTデータカスタマーサービス(株)
 ㈱エラン
 岡野薬品(株)
 ㈱カープスジャパン
 北魚沼農業協同組合
 ㈱キッツメタルワークス
 ㈱求人ジャーナル
 ㈱クスリのアオキ
 CREST PRECISION(株)
 群馬県警察

㈱ケーユーホールディングス
 埼玉県教育委員会
 ㈱斎藤ホテル
 佐久長聖小学校
 社会福祉法人サン・ビジョン
 ㈱サンプロ
 サンリン(株)
 昭和電機産業(株)
 社会医療法人城西医療財団
 シンコーススポーツ(株)
 ㈱スタッフサービス・エンジニアリング
 セコム山梨(株)
 宗教法人創価学会
 ㈱立石コーポレーション
 ㈱ディスコ
 ㈱トライトキャリア
 ㈱長野銀行
 長野県教育委員会
 ㈱長野サンヨーフーズ
 長野信用金庫
 長野日産自動車(株)
 ながの農業協同組合
 新潟県教育委員会
 日本食研(株)
 ネットトヨタ新潟(株)
 ㈱ビーネックステクノロジーズ
 富士電機パワーセミコンダクタ(株)
 ㈱ペヤングホールディングス
 ㈱保険見直し本舗

北海道教育委員会
 松本市役所
 松本信用金庫
 松本ハイランド農業協同組合
 ㈱マナテック
 ㈱マルニシ
 社会医療法人抱生会丸の内病院
 丸文通商(株)
 三重県教育委員会
 三島ほうゆう整体院・整骨院
 ㈱本久
 大和電機工業(株)
 山梨県教育委員会
 ㈱ゆうちょ銀行
 ㈱ヨコハマタイヤジャパン
 ㈱ルネサンス
 ㈱ロイヤルオートサービス
 渡辺パイプ(株)
【進 学】
 松本大学大学院健康科学研究科
 上越教育大学大学院
 ACE language school (マルタ)

松本大学 教育学部

学校教育学科

【就職】

愛知県教育委員会
 (株)アドヴァンスト・イン・フォーメーション・デザイン
 アンダンテ(株)
 イオンリテール(株)
 石川県教育委員会

上田市役所
 ウエルシア薬局(株)
 岡野薬品(株)
 神奈川県教育委員会
 上伊那農業協同組合
 (株)クオリティライフ・コンシェルジュ
 埼玉県教育委員会
 坂城町役場

佐川急便(株)
 (株)サンコー
 (株)サンプロ
 学校法人信学会
 (株)第四北越銀行
 (株)TSACE
 (株)デリシア
 東京都教育委員会

長野県教育委員会
 鳴沢村役場
 新潟県教育委員会
 日精樹脂工業(株)
 (株)ニトリ
 韮崎市役所
 八巧機電設備(株)
 フォレックス(株)

北海道教育委員会
 (株)ホンダモビリティ北関東
 (有)マルヨ
 山梨県教育委員会
 吉川建設(株)
 【進学】
 上越教育大学大学院

松本大学 松商短期大学部

商学科・経営情報学科

【就職】

アールインタラクティブ(株)
 社会医療法人財団慈恵会相澤病院
 (株)アクティオ
 安曇野市役所
 アップルペイント(株)
 (株)アツマ
 あづみ農業協同組合
 (株)アドヴァンスト・イン・フォーメーション・デザイン
 アルピコホテルズ(株)
 アルプス中央信用金庫
 (株)アルプスピアホーム
 飯田信用金庫
 ウエルシア薬局(株)
 (株)ウェルライフ信州
 (株)栄光製作所
 (株)エイジエック
 エスエイティーティー(株)
 (株)越前屋
 (株)エフプラス
 (株)MFS
 エムケー精工(株)
 M-TECH
 おかもとファミリー歯科
 (株)荻原製作所
 (株)おくすりホンポ
 カイシン工業(株)

金澤工業(株)
 木曾町役場
 (株)北澤電機製作所
 (株)キョウデン
 共立機器(株)
 協和ダンボール(株)
 グリーン長野農業協同組合
 (株)グローメント
 (株)甲信マツダ
 (株)五千尺
 (株)国興
 (株)小松プレゼンション
 佐久ケーブルテレビ(株)
 (株)櫻井甘精堂
 三夢(株)
 (株)サンコー
 (株)サンティア
 サン・フーズ(株)
 山洋電気テクノサービス(株)
 (株)城南製作所
 昭和電機産業(株)
 (株)シンエイ・ハイテック
 信越明星(株)
 信州諏訪農業協同組合
 伸和コントロールズ(株)
 (株)伸和精工
 生活協同組合コープながの
 セイコーエプソン(株)
 セラヴィリゾート泉郷

(株)センデン
 (株)ソラスト
 (株)ダイシン
 大北保険薬局事業協同組合
 大和冷機工業(株)
 (株)竹内製作所
 武川総業(株)
 特定医療法人財団大西会千曲中央病院
 (株)チンタイバンク
 (株)つばくろ電機
 (株)ツルヤ
 (株)ティー・ピー・エス 長野工場
 TPR(株)
 (株)デリシア
 (株)テレビ松本ケーブルビジョン
 (株)デンセン
 東都水産(株)
 医療法人社団桐和会
 (株)TOSYS
 DOWAパワーデバイス(株)
 (株)ドリームホテル
 (株)とをしや薬局
 中日本メディカルリンク(株)
 (株)長野銀行
 長野県信用組合
 (株)長野サンヨーフーズ
 長野信用金庫
 長野医療生活協同組合長野中央病院
 (株)南信精機製作所

新潟県信用組合
 にこり歯科
 (株)西源
 日本銀行松本支店
 日本ナレッジ(株)
 日本マニファクチャリングサービス(株)
 日本郵便(株)
 日本連合警備(株)
 税理士法人のぞみ
 深志神社梅風閣
 (株)ハウスクル
 (有)林薬局
 (株)ビーアップ
 (株)ビーネックステクノロジーーズ
 (株)fino
 富国生命保険相互会社
 富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)
 (株)プラスチック
 フルーツ山梨農業協同組合
 プレマテック(株)
 (株)北條組
 (株)星野リゾート
 (株)穂高自動車
 ホテル国際21(株)
 (株)マイステイズ・ホテル・マネジメント
 (株)マツザワ
 松本ガス(株)
 松本信用金庫
 松本倉庫(株)

松本日産自動車(株)
 松本ハイランド農業協同組合
 松本メーヤウ
 丸井産業(株)
 (株)マルニシ
 (株)マルモ
 マルヤス機械(株)
 明興双葉(株)
 (株)メガネのナガタ
 (有)メディネット
 (株)大和
 大和電機工業(株)
 (株)ユカシカド
 (株)ユニオンプレート
 ルートイングループ
 (株)ロイヤルオートサービス
 (株)ロゴス
 (株)ワキタ商会
 【進学】
 松本大学総合経営学部
 亜細亜大学経営学部
 杏林大学総合政策学部
 国士館大学経営学部
 東京経済大学経営学部
 東京情報大学総合情報学部
 東洋学園大学現代経営学部
 アミューズメントメディア総合学院
 東京アジアカデミー

地域とともに新しい未来へ



令和6年度

松本大学同窓会 総会のお知らせ

日 時 令和6年5月11日(土)

場 所 アルピコプラザホテル
総会 15:00～ 懇親会 17:00～議 題 (1)令和5年度事業・決算・監査報告
(2)令和6年度事業計画(案)・予算(案)
(3)役員改選懇親会 会費3,000円(本年3月卒業生1,000円)
総会終了後、母校教職員をお迎えして懇親会を開催します。余興として抽選会などを計画しております。

〔懇親会のみ参加も歓迎いたします。〕

お問い合わせ先

松本大学 同窓会事務局 0263-48-7208



令和6年度年間事業



花信相次ぐ候、同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、平素より同窓会活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も世界的情勢不安や災害等、未だ先行きに不安がある状況ではございますが、一日も早く事態が収束し、平穏な世になってほしいと祈るばかりです。

しかし、このような状況下の中、WBCでの14年ぶり3度目の優勝、エンゼルス大谷翔平選手の日本人初本塁打王、

藤井竜王史上初八冠等、私たちに勇気と希望を与えてくれたニュースも多々ありました。

春光うらかな好季節、同窓生の皆様におかれましても、ますますご活躍されますことを、心よりお祈り申し上げます。

最後になりますが、ご多用中にもかかわらず、会報に寄稿いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

(記・太田 健司)

- 編集委員長 太田 健司 ● 編集副委員長 北原 智代
- 編集委員 三村 明子・滝澤 毅・平林 孝一・宮坂 佳典

松本大学同窓会報『フラップ』

令和6年4月20日発行 第22号(通算40号)

発行者 松本大学同窓会

e-mail dousoukai@t.matsu.ac.jp

〒390-1295 長野県松本市新村2095-1 電話0263-48-7208

企画・編集 松本大学同窓会報編集委員会

